



おいしい実りに感謝の秋です。さて、TPP交渉合意が報道されました。早速翌日からテレビでは輸入食品が安くなるという大合唱。しかし、交渉は秘密会議でほとんど情報が公開されていません。結果を「受け入れろ」という強引なやり方、日本の農業がどれほど打撃を受けるのかと思うと、安いことだけを喜んではいられません。私たちの「食」について深く考えさせられる秋です。

安全保障関連法(戦争法)廃止へ 次なる行動を！

9月19日、自公政権によって強行採決された参議院特別委員会の騒然とした状況は、とても「民主的な議会」とは言えません。数の力で押し切った安倍首相はまるで何もなかったかのように、国民への説明責任も果たさず、海外へ出かけてしまいました。国民が忘れるのをひたすら待っているのでしょうか。このままあきらめては思う壺です。憲法違反の法律は廃止にしなければなりません。また、憲法を守らず、国民の声を聞かない政治は正していかなければなりません。次期選挙で「戦争法」に賛成した国会議員を落選させること、その力は私たちひとり一人の手にあります。愛媛県で『反自民』の動きを広めていきましょう。

忙しい日常生活の中で、政治のことに関心を持ち続けることは難しいかもしれません。また、難しいことは考えたくないかもしれません。でも、子どもや孫の世代が生きる時代を「戦争」に加担する社会にしてはいけない、そのことだけは忘れず、次なる行動へつなげていきましょう。

私は、超党派の松山市議会議員で毎週月曜日12:30～市駅前で「戦争法反対」の街頭行動を続けています。毎回、道行く方々から賛同の声が届きます。この活動は継続していきたいと思っています。

だれの人権を侵害されることにも心の底から抗う単なる一県民として

安保法制が成立してしまい、今2つのことを自分に問うています。

1つは、正直なところ、伊方原発の再稼働に反対することと、安保法制に反対することと、どちらを優先すべきなのかということ。どちらも根っこは同じ、カネと差別だと思えます。ですから「両方とも大事」といえば、それはそうなのですが。

もう1つは、とにかく目的を達成するため(安保法制を止めることや原発を再稼働させないこと)に、手段を選ぶのはやめるべきかということ。ずっと、パフォーマンスじみたことをする人とはかかわりたくないと思ってきました。今も思っています。本気の「やめて！」というたった一言を、言うべき相手に直接会って言えばいいのに、相手のいないところでわざわざステージや音楽を入れる必要が分からない。そう思ってきました。

だけど行動を起こさないわけにはいかないのです、ひとりで思いつくことをしてきましたが、私はもう少しだまって、辛抱して、だれの人権を侵害されることにも心の底から抗う単なる一県民として運動に加わるべきなのかもしれません。

白石 彩

“政治カフェ” 「教科書選定」どこが問題？

と き：2015年11月28日(土) 10:30～12:00 ところ：生き生き政治ネット事務所

松山市教育委員会は2016年度から使用する中学校の歴史教科書に先の侵略戦争を美化していると批判の多い育鵬社を選びました。これは29校の中学校でひとつも選ばれなかった教科書です。とても中立・公正な選定結果とは言えません。教科書は子どもたちにとって大切な教材です。どうしてこのような結果になったのか、今回の教科書選定の問題点を共有し、今後のあり方について話し合しましょう。

伊方原発 再稼働ゆるさん!! 11・1集会

県内外から約4000人の人々が集まり、「伊方原発 再稼働ゆるさん」の声を上げました。

中村知事は10月26日、伊方原発の再稼働を認めました。最後まで「国の責任」を強調していました。はたして、今の福島第一原発事故で国が責任を取っているといえるのでしょうか。誰が見ても収束のめどはたたず、4年以上たった今も10万人を越える方々が避難を余儀なくされています。国が責任を果たしているとは到底言えません。この実態を見て、再稼働を認める知事は無責任です。

南海トラフ巨大地震は必ず起きます。その時伊方原発はいったいどうなるのか、なぜ、私たちは原発事故への不安と日々背中合わせの生活を強いられなければならないのでしょうか。原発はなくても電気は足りています。いくらでも発電の手段はある中、どうして私たちの命や暮らしが最も脅かされる原発に固執するのか、納得できません。

伊方原発、再稼働は認められません。



「脱原発」を訴える、小泉元首相の講演会に参加して

9月16日小泉純一郎元首相が、松山市内で脱原発について講演した。原発推進者であった小泉元首相に対しては、厳しい批判もあるが、2011年の福島原発の事故後、フィンランドのオンカロを視察しその後「原発をゼロに」と訴える小泉元首相が、何を語るのか大変興味があり、私は講演会に参加した。

講演の中で感じたことは、小泉氏が原発の危険性や問題点等、大変詳しく勉強されていたことだ。ご自分が首相の時は、「一番安い電力だ」ということを信じて推進してきたこと。今は過ちを認め自分なりの謝罪の気持ちから、講演活動を通して、原発の危険性、自然エネルギーへの転換を広めようとしていること。等話をされた。小泉氏は健在で、原発のことが詳しくない方にも伝わるわかりやすいお話だった。原発反対者の意見を一般の人が、素直に受け入れにくいことも、彼のような著名な方が先頭に立って活動を続けて下さることは、大変意味のあることではないかと思った。ところで、再稼働に揺れていた伊方原発だが、10月6日原子力防災会議に出席した中村時広知事は、直接安倍首相に伊方原発事故時の国の責任を求めた。何かか私には知事のパフォーマンスのようにさえ感じた。「伊方の再稼働には白紙」とずっと言い続けた知事だが、再稼働に舵を切った今も、県知事としての、覚悟や責任は全く伝わって来ない。本当に伊方原発で重大事故が起きたときの責任は、誰も取れるはずがない。福島の事故でわかっている。県民の70%近くの人が、再稼働に反対している中、伊方原発の再稼働は認められない。こらからも、再稼働反対の運動を続けていかなければならない。 中野裕子

インフォメーション

☆☆ お誘いあわせてご参加下さい。☆☆

これからどうする“私”の介護 大介護時代を生き抜く力

と き：2015年12月6日(土) 13:30~16:00 ところ：愛媛県男女共同参画推進センター

内 容：1部 基調講演 講師 春日キスヨ(社会学者・福祉学者・介護問題の第一人者)

2部 介護経験者等によるパネルディスカッション

主 催：ウィメンズカウンセリング松山



第17回コムズフェスティバル 分科会

と き：2016年1月30日(土) 13:30~16:00 ところ：コムズ 視聴覚室A・B

内 容：『怒れる女子会』えひめ 女性の怒りで政治を変えよう

主 催：議会に女性をおくる会

「伊方原発反対八西連絡協議会」近藤誠氏が10月15日亡くなりました。近藤さんは、伊方原発建設前から一貫して反対運動を行ってこられました。現地で声を上げ続けてくださることは大きな指針でした。

本当にありがとうございました。心よりお悔やみ申し上げます。この紙面にて、近藤誠氏追悼集会の開催をご案内いたします。お申し込みについては事務所(924-2485)までお問い合わせ下さい。 〆切11月20日

と き：2015年12月20日(日) 10:00~10:30 伊方原発ゲート前にて抗議行動

11:30~15:00 追悼会(八幡浜センチュリーホテルイトー)